

歌原茶草香 うたはら 俳人。明治八年愛媛縣生れ、昭和十七年歿（一八七五—一九四二）。本名恒。正岡子規とは姻戚關係に在り、その門に入つて作句を始めり。日露戰爭に少尉として従軍、その後朝鮮に務住して農園を経営した。また大正圖書館司書を務め、同地の俳界の中心となる。

其著書に『俳句の現はれたる植物』（昭和七年五月二十日朝鮮慶尚北道・白刊）がある。

